

赤城南麓から発信
スローシティーを目指します

☎文化国際課
027・898・6516

前橋市は赤城南麓のブランド力向上のため、チッタスロー協会への加入を申請。審査の結果、5月12日に前橋・赤城地域の加入が認定されました。

ゆとりある質の高い生活や食文化と環境を尊重した都市の実現を目的とし、本市の友好都市・イタリア・オルビエート市に本部を置くチッタスロー協会。今回、同協会に加入を認定されたのは、前橋・赤城地域（宮城・富士見地区、芳賀・大胡・粕川地区の一部）。

国内では宮城県気仙沼市に続き、2例目の認定です。

本市では、加入を記念し秋ごろに関連イベントを開催予定。今後も、前橋・赤城地域の豊かな環境を生かしたまちづくりを進めます。



チッタスローとは…
イタリア語でスローシティーの意。1999年イタリアから始まった運動。地域の食や農産物を大切にスローフード運動の精神を取り入れるなど個性を重視した新たなまちづくりを目指す。



住みたい、戻りたい、を応援 都内で移住希望の相談会を開催

県内への移住や、田舎暮らしに興味がある人などを対象に「ぐんま暮らし相談会」を開催。市町村や就職相談のブースを設置し、個別相談に応じます。前橋市からも、移住コンシェルジュが参加します。

日時＝8月5日(土)午前11時30分～午後3時30分
会場＝東京交通会館（東京都千代田区有楽町）

☎当日会場へ直接
☎県地域政策課 ☎027-226-2371

地域おこし協力隊の活動期間はおおむね3年。その後の定住を目指し活動します。大胡支所を拠点に、赤城南麓地域を中心に地域づくりや農業支援、観光振興、移住推進のためのシティブロモーション、情報発信などを行う予定。隊員と地元市民、そして、行政が一体となり、赤城南麓地域を盛り上げます。他にも本市では、U・Iターンなど、移住を希望する若者や移住者受け入れ企業へ奨励金や補助金を支給しサポートします。新たな仲間の夢がかなうこと、それは前橋の希望です。



特集

収入は減り歳出は増。その中でできることを 前橋を未来へ引き継ぐために

☎財政課 ☎027・898・6542
行政改革課 ☎027・898・6537

本市ではこれまで、社会情勢などを踏まえ、多分野でまちづくりを進めてきました。近年では、学校の耐震化や各種検診への支援、スポーツ施設や道路の整備などに積極的に取り組んでいます。

● **地方交付税の見直し**
一定の行政水準を確保するため、財政力に応じて国から交付される地方交付税。本市の平成27年度決算では、一般会計の歳入に占める割合は11割で貴重な財源です。

● **財政改革の取り組み**
財源確保が厳しくなる中、行政の効率化と財政の健全化のため、さまざまな財政改革に取り組んできました。

● **その重点事項の一つに職員数の適正化を位置付け、平成16年度の合併時には3,130人だった職**

● **未来へ向けて**
行政改革に力を注いでいるものの、歳入では地方交付税の大幅な減収、歳出では社会保障費の増加などが見込まれ、基金残高も減少。厳しい財政状況が予測されます。一方、地方分権により市町村の業務量は増加しています。安定した市政運営を続け、前橋を将来の世代に引き継いでいくことは私たちの責務です。緊急性や優先度などを基準にさらなる事業の見直しを進め、本市の発展につなげていきます。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

員数を29年度までに514人減員するなど、人件費の削減に取り組んでいます。また、民間活力の導入や施設の電力供給先見直しによる経費削減、印刷物への有料広告の掲載やネーミングライツ（命名権）導入などによる歳入確保も積極的に実施。改革の効果は平成28年度で16億円となっています。

● 財政健全化のために進めている主な取り組み

施設を統合し、業務を効率化



ジョブセンターまえばし

公共施設の命名権を導入



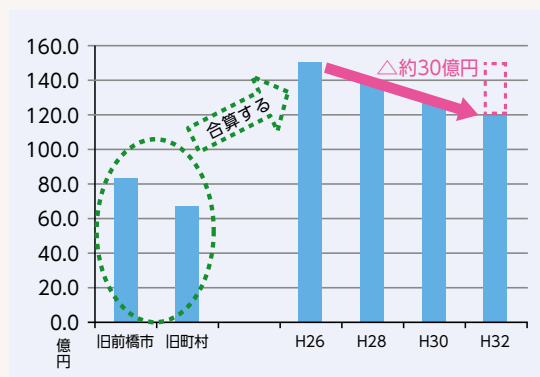
ヤマダグリーンドーム前橋

民間活力の導入



中央児童遊園（るなばあく）

地方交付税のうち普通交付税見込額



※平成26年度の交付税額をもとに推計。